



教育機関のための
英語力診断
ソリューション



Aptis
English testing
For Education



英語の重要性

グローバル化が進む今日、英語の重要性は否定できません。優れた英語スキルは、世界中で活躍する可能性を広げます。国際的な環境で活躍し、働くためには、教員にとっても生徒にとっても英語力が必須であることはあらゆる教育機関が認めています。

あなたの教育機関は、 適正に言語スキルを 測定していますか？

教育機関は、生徒のエンプロイヤビリティ(雇用される能力)を高め、提供する教育の質を向上させる大切な役割を担っています。

そのために不可欠なのが信頼のおける英語力診断です。生徒や教員の評価、職員採用、集団研修、特定プログラムの受講対象者の選定に役立ちます。

各教育機関には、それぞれのニーズに合わせて生徒や教員の英語力を迅速に良心的なコストで測定できるシステムが必要であり、Aptisはこの要求に応えるべく開発されました。

「英語力テストは過去20年間であまり変わっていません。しかし、世界も、本学のような組織も変化し続けています。今すぐに新しいアプローチが求められています。これまでのテストより面白くて、実際に使われている国際的な英語を対象とした、まったく新しい英語力テストに期待したいと思います。」

ダッカ大学英語学部教授 Rubina Khan氏

教育機関のために開発された 英語力診断テスト「Aptis」-アプティス

Aptisは、世界中の教育機関・企業・その他各種団体や組織で英語スキルをテスト・考査・評価する革新的なツールです。

言語能力試験の専門家が最新の考査方法の研究に基づいて開発したAptisは、英語のリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つのスキルを測定する最適な診断テストです。

Aptisには以下の種類があります。



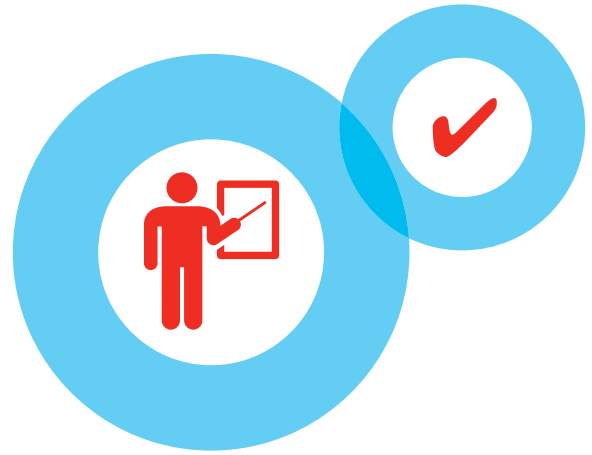
Aptis for Teachers (教員向けAptis)



Aptis for Teens (中高生向けAptis)



Aptis (一般向けAptis)



Aptis for Teachers (教員向けAptis)

教育現場や職場での英語の需要の高まりを受け、多くの国では英語による指導の導入や、英語教育や評価方法の改善などの施策を打ち出しています。Aptis for Teachers(教員向けAptis)は、教育関連機関に従事する方々を対象とした英語力診断テストです。既存の研修システムに取り入れ、各機関で独自に運営することで教員の英語力レベルの推移を把握できるほか、研修プログラムの効果を明確に測定することが可能です。

Aptis for Teachersは以下に示す対象者の英語力を迅速かつ正確に測定できます。

- 世界各地の英語教員や英語以外の科目の教員、教育関係の政府機関・教育機関で働く人
- 民間企業による語学プログラムを含む大規模プログラムの英語教員
- 教員研修中または大学の教員養成課程に在籍する学生
- その他教育関係者

Aptis for Teachersでできること

- 教員の英語力を考査する。
- 教員の英語力を審査し、研修ニーズを明らかにする。
- 教員研修中または大学の教員養成課程に在籍する学生の英語力を把握する。
- 語学開発プロジェクトの各段階における効果を評価する。



「当大学では、英語教育と試験に係るサービスをブリティッシュ・カウンシルに委託していますが、これは私たちにとって新しい考え方、最先端の言語学習方法を導入するという新たなステージへの移行を意味しました。Aptisを使ってこれまで約5,500人の学生の英語力を測定し、CEFRに沿ったレベル分けをする際に生かしています。」

イリヤ州立大学学長 Gigi Tevzadze氏



Aptis for Teens (中高生向けAptis)

13歳～17歳を対象とするAptis for Teens(中高生向けAptis)は、モジュール型で柔軟性がある英語力診断テストであるため、必要とするスキルの測定が可能で、結果も迅速に得られます。

試験問題は、SNS、宿題、スポーツなど、中高生に身近なテーマを扱った親しみやすい内容となっています。そのため、受験者は英語そのものに集中して問題に取り組むことができ、読む・書く・話す・聞くというスキルを無理なく使うことができます。この最新式のアプローチにより、受験者は英語の知識とスキルを存分に発揮することが可能なのです。

Aptis for Teensは、現行の教育制度に組み入れることが可能です。それにより生徒の英語力の推移を効果的かつ効率的に測定できるため、幅広い科目で将来の学習に可能性を広げることができます。

Aptis for Teensを活用している組織

- 中学・高校
- 各国の教育関連政府機関
- 語学学校
- 家庭教師
- バイリンガル・スクール

Aptis for Teensのできるこ

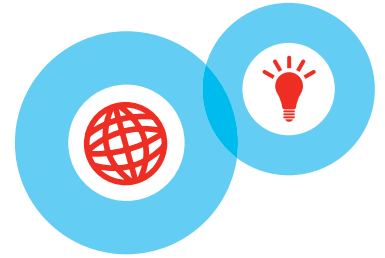
- 語学プログラムで能力に応じて学習者をレベル分けする。
- 重要な資格試験を受験するに当たり、必要な語学力があるかを判定する。
- 海外留学・ホームステイに参加するに当たり、必要な語学力が身についているかを判定する。
- 得意分野や弱点を明確にし、指導者・学習者双方に知らせることで今後の学習に役立てる。
- 学習プログラムを評価する。
- 一定期間内の生徒の伸びを測定する。



「自分の苦手分野が分かり、とても役に立ちました。」

Georgia (16歳、キプロス)

サウジアラビアの全国の学校統括機関である Ma'arif for Education & Trainingは、学校ネットワークの中で英語力のベンチマーキングにAptisを採用しています。Aptisのスコアは、生徒の学年が進む過程での語学力の推移を示す指標としても利用されています。7年生から10年生までの全生徒は、毎年Aptisで4つの英語スキルを測定し、スコアは学校のデータベースに保存されます。



Aptis

大学生レベルの英語力を的確に測定する最新の英語力診断テスト、それがAptisです。対面型授業やeラーニングといった様々な研修・授業形態であっても、その各教育機関のプログラムに組み込んだり、またはプログラムの前後に実施することができます。英語力が高い受験者には、Aptis Advanced(中上級レベル受験)をお勧めします。

Aptis Advancedは、言語能力の国際標準規格であるヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference for Languages(CEFR))のB1レベルからC2レベルを対象としています。問題はAptisより複雑で、微妙な違いを識別する能力など高度な英語力が試されます。また、CEFRのC1レベルとC2レベルを区別して判定することも可能です。

Aptisでできること

- 生徒の語学レベルに合わせたクラス分けやキャンパス編成を行う。
- 奨学金の申込者が学力基準に達しているかを確認する。
- 全国の高等学校卒業者の英語スキルを判定する。
- 生徒を選り分け、国際的なテストを受験するレベルにある生徒を選抜する。



便利、簡単

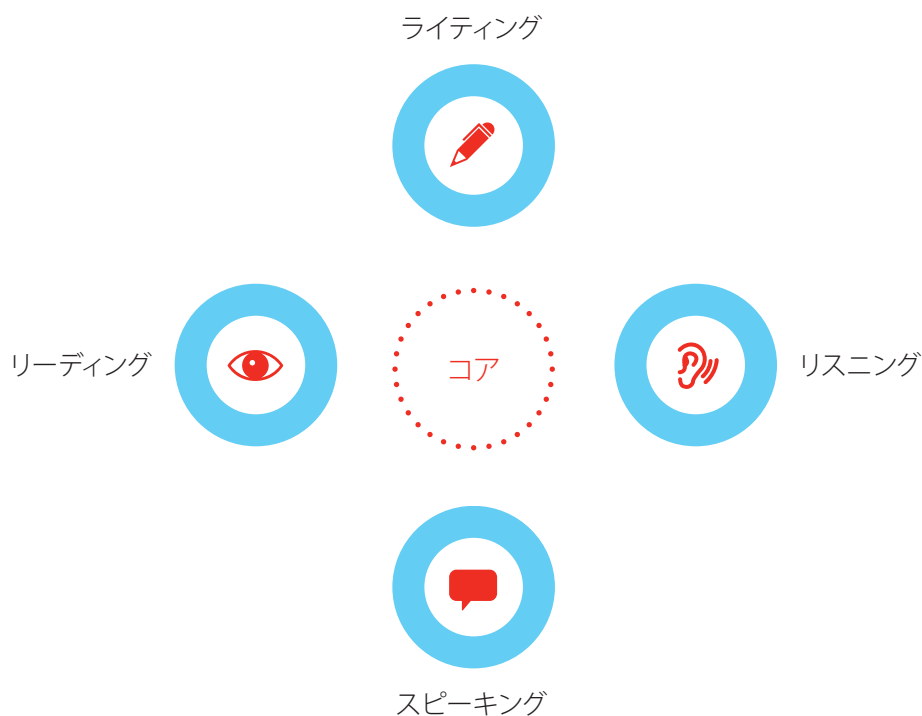
Aptisは、手間なく設定でき、実施方法も簡単です。環境や場所を選ばず、受験者の語学レベルも問わないフレキシブルさが特徴です。

Aptisには以下の試験形態があります。

- パソコン
- 紙とペン
- タブレット

教育機関に最適なツール

Aptisは、評価したいスキルだけを選んで実施できるというフレキシブルな仕組みのため、試験を実施する際にコア・コンポーネント(文法と語彙)と、ニーズに合った個別のスキル・コンポーネントを選んで組み合わせ、適格で適切な試験を作成することができます。また、料金が発生するのは必要なスキル・テストのみなので経済的です。



試験の構成

コンポーネント	問題	試験時間
文法・語彙	50問	25分
リーディング	25問	30分
リスニング	25問	55分
スピーキング	4問	12分
ライティング	4問	50分

Aptisは、専門家が開発したツールです

Aptisは、英語指導と英語力考査で80年以上の実績を誇る、信頼性の高いブリティッシュ・カウンシルによって開発されました。英語の専門家によって作成されたAptisは、言語能力に関して受験者の実力を正確にとらえる総合的な診断システムであり、現在の言語能力診断分野で最も有力な試験検証理論である「社会・認知的枠組み(socio-cognitive framework)」をベースにしています。

受験者の各スキルの成績はヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)に対応して判定されます。試験結果は、2種類あります。文法・語彙のセクションについては0~50点の数値で示され、選択した各スキルについてはCEFRの該当レベルが示されます。個人が受け取る試験結果通知表は、各モジュールのスコアが詳細に記載され、受験者の語学能力のプロフィール全体像を明らかにします。この詳細なスコア報告により、受験者の実力が具体的に把握できるのです。

Aptisを活用している 政府機関や企業

- マレーシア教育省
- 国立タルカ大学(チリ)
- eAge Edusolutions Pvt Ltd(インド)
- パンジャーブ州政府学校教育局(インド)
- Ma'arif for Education & Training
(サウジアラビア)
- ビハール州政府国際開発局(インド)
- ナザルバエフ・グループ
(ナザルバエフ・インテレクチュアルスクール
および大学) (カザフスタン)
- セント・ジョセフスクール(シンガポール)
- 科学技術教育振興研究所(IPST) (タイ)
- ルワンダ国際開発省 (DFID)、
ルワンダ教育省(ルワンダ)
- EASYWay Language語学学校(コロンビア)
- イリヤ州立大学(グルジア)
- ヘルガ・トッド教員養成財団(インド)

ベンチマーキング、採用、人材育成、研修など、いかなる目的であっても、将来を見据えた英語力診断テストとして、Aptisは期待を裏切りません。

Aptisの詳細情報：

<https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis>

サンプル問題を受けてみる。

<https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/take-test>

お問い合わせは下記リンクのお問い合わせフォームをご利用ください。後日こちらからご連絡を差し上げます。

<https://www.britishcouncil.jp/exam/aptis/message>





Aptis

English testing
For Education